

第11次岩手県職業能力開発計画の令和4年度の具体の取組

職業能力開発の基本的施策		令和4年度の具体の取組
1 産業構造・社会環境の変化を踏まえた職業能力開発の推進		
(1) IT人材の育成強化	① IT分野における在職者訓練の拡充〔県、認定職業訓練団体、機構〕	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> IT分野における在職者訓練の実施 実施計画数：21コース、220人 (前年比：3コース増、40人増) <p>【認定職業訓練団体】</p> <ul style="list-style-type: none"> 事業者のニーズを捉えながら、IT分野の訓練の導入を検討 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 民間教育訓練機関を活用した生産性向上支援訓練（DX対応コース）の実施 実施計画数：60名【新規】
	② IT分野における離職者等再就職訓練の拡充〔県〕 〔機構〕	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> IT分野の離職者等再就職訓練の実施 実施計画数：18コース、219名 (前年比：3コース減、49名減) ※実施にあたり定員増等を勧奨 ※新たにIT資格取得コース（6カ月）を設定 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> ITスキルや基礎的なITリテラシー等の習得に資する訓練を組み込んだ訓練コースを設定（生産性向上支援訓練） 実施計画数：40名（前年比：増減なし）
	③ 新技術に対応した職業訓練プログラムの開発・実施 〔機構〕	<p>第4次産業革命の進展に対応したカリキュラムを取り入れた訓練の実施</p> <p>〔主な訓練内容〕</p> <ul style="list-style-type: none"> 設計者CAEを活用した構造解析（在職者訓練）
	④ 高度IT人材の育成〔県〕	<ul style="list-style-type: none"> IT企業等向けに、県内IT産業界に不足しているプロジェクトマネージャーの育成 研修定員：16名
	⑤ 県立職業能力開発施設におけるIT分野のカリキュラムの充実〔県〕	<ul style="list-style-type: none"> 学卒者訓練において、指導員の研修等を通じて技術共有を図り、ITを取り入れた実験・実習等訓練を提供
(2) ITや新たな技術を活用した職業能力開発等の推進	① デジタル技術等の活用によるオンライン訓練の推進〔県〕	<ul style="list-style-type: none"> 県立職業能力開発施設において、オンラインを利用した訓練に係るパソコン等を整備
	② ものづくり分野の新たなIT技術の導入に向けた訓練手法の開発・検証〔機構〕	<ul style="list-style-type: none"> 第4次産業革命に関連した研修を全職業訓練指導員を対象に実施
	③ オンラインを活用したキャリアコンサルティングの推進〔国〕	<ul style="list-style-type: none"> キャリア形成サポートセンター（厚生労働本省委託事業）において、オンラインによる相談を実施

(3) ものづくり産業人材の育成強化	① 地域ものづくりネットワーク等関係機関との連携による人材育成の強化 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・コーディネーターの配置 ・工業高校教員を対象とした研修の実施 ・企業講師を工業高校等に派遣して行う技能・技術講習会の実施
	② 企業の高度化や課題解決に資する高度技術者・技能者の育成 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・いわて半導体アカデミー、EVアカデミー等の開催
	③ ものづくり企業や産業への理解を深める機会の提供 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・工場見学、出前授業、技能・技術講習会の実施 ・生徒や保護者、教員を対象とした講演会や企業ガイダンス等の実施
	④ ものづくり分野の在職者訓練及び生産性向上支援訓練の実施 [機構]	<ul style="list-style-type: none"> ・在職者訓練 実施計画数：250名（前年比：増減なし） ・生産性向上支援訓練 実施計画数：570名（前年比：30名増）
	⑤ 新技術に対応した職業訓練プログラムの開発・実施 [機構]	
	⑥ ものづくり分野の新たなIT技術の導入に向けた訓練手法の開発・検証 [機構]	
(4) 企業・業界における人材育成の強化	① ニーズに即した在職者訓練の実施 [県]	<p>実施計画数：126コース、2,300人 （前年比：2コース減、25人増）</p> <p>[企業ニーズを踏まえた主な研修内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ◎ハラスメント対策やメンタルヘルスケア ◎ITリテラシー向上を目的とした訓練 ・IT人材の育成強化に向けた訓練 等 <p>※◎は新規</p>
	② 認定職業訓練の効果的な活用の促進 [県]	<p>地場企業の訓練ニーズに対応できるよう、引き続き、認定職業訓練費補助金により、職業訓練法人の運営を支援</p> <p>[実施計画]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・長期訓練生 118名（前年比：4名増） ・短期訓練生2,304名（前年比：45名増）
	③ 中小企業への実践的な人材育成等の支援 [機構]	<ul style="list-style-type: none"> ・在職者訓練を機械、電気・電子及び居住分野に応じ、体系的な人材育成の支援を実施 実施計画数：250名（前年比：増減なし） ・企業の人材育成の相談に基づき、オーダーメイド方式による生産性向上支援訓練の実施 実施計画数：570名（前年比：30名増）
	④ 職業訓練指導員の派遣や施設・設備の貸出し、事業主団体と共同で訓練コースを開発・実施 [県・機構]	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能検定対策など、企業等の要望に応じて指導員派遣を実施 ・企業ニーズに沿った指導員とのマッチングを実施 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域への施設有効活用を目途として中小企業等に対し、積極的に職業訓練指導員の派遣及び施設貸与等の支援を実施
	⑤ 企業におけるキャリアコンサルティングの推進を支援 [国]	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成サポートセンター（厚生労働本省委託事業）において、セルフ・キャリアドックの導入や雇用型訓練などの支援を実施
	⑥ 職業能力開発推進者に対する研修等を支援 [労働局、職業能力開発協会]	<p>【労働局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業主団体等主催の会議等における助成金の周知・説明に併せて実施 <p>[主な研修内容]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事業内における職業能力開発計画の作成等 ・企業内での従業員に対する職業能力の開発

(5) 被災地域の復興の着実な推進に向けた職業能力開発の実施	① 岩手職業能力開発促進センター(ポリテクセンター岩手)における離職者訓練の実施 [機構]	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度をもって遠野市で実施していた居住系の震災復興訓練が終了。令和3年度より花巻市の実習場に統合し、引き続き被災地域の人材ニーズ等を踏まえた離職者訓練を実施。 実施計画数： 4コース、68人 (前年比：増減なし)
	② 被災地域の需要に対応した職業能力開発の実施 [県、機構、労働局、認定職業訓練団体等]	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学卒者訓練においては製造業系を、離職者においてはオフィスビジネス系を軸に、被災地域の需要に応じた訓練を実施 <p>【機構】</p> <ul style="list-style-type: none"> 被災地域の需要に対応した職業能力開発の支援を実施 <p>【労働局】</p> <ul style="list-style-type: none"> ハローワークにおいて被災地域で実施される職業訓練への受講勧奨を積極的に実施

【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度
IT分野の在職者訓練の修了者数(県実施分)	167人	121人	
在職者訓練の修了者数(県実施分)	1,880人	1,591人	
介護・医療・IT分野の離職者等再就職訓練の受講者数・就職率	343人 87.2%	274人 87.2%	
離職者等再就職訓練等の就職率(県委託訓練分)	80.0%	80.7%	

2 全員参加の社会の実現に向けた職業能力開発の推進	令和4年度の具体の取組
(1) 非正規雇用労働者の職業能力開発	<p>① 企業内キャリアコンサルティングの実施、キャリアパスの整備や職業能力の向上を促進 [国、労働局、県]</p> <p>【労働局】 ・キャリアアップ助成金の活用を図り、非正規雇用労働者の正社員への移行を推進</p> <p>【県】 ・自発的な職業能力開発への取組を進めるとともに、キャリアアップが必要な非正規労働者に対して、的確な能力開発機会を提供</p> <p>② 短時間訓練コースの設定 [県、労働局、機構]</p> <p>【県】 ・非正規雇用労働者等が仕事と訓練受講を両立し易くなるよう弾力的に訓練コースを追加</p> <p>【労働局】 ・非正規雇用労働者等が働きながら訓練を受講できるよう短時間訓練コースを設定し受講を促進</p> <p>【機構】 ・求職者支援訓練による就職氷河期対策及び短期・短時間特例訓練コースの設定 実施計画数：157名（前年比：78名増）</p> <p>③ 日本版デュアルシステム等による訓練の推進 [県]</p> <p>・実習の効果が有効である医療事務・IT関連分野を中心に、即戦力となる人材を育成 実施計画数：7コース、105名 （前年比：3コース減、44名減）</p> <p>④ 求職者支援訓練等の活用 [労働局、機構]</p> <p>【労働局】 ・ハローワークにおいて、非正規雇用労働者等へ受講を積極的に促し、就職に向けたきめ細やかな支援を実施</p> <p>【機構】 ・求職者支援訓練の実施 実施計画数：870名（前年比：58名減）</p> <p>⑤ 離職者等再就職訓練の実施 [県]</p> <p>・離職者の円滑な再就職のため、介護、医療分野など求職者のニーズを踏まえた訓練コースを設定。 実施計画数：128コース、1,620名 （下記(2)②③含む） （前年比：1コース増、16名増） うち介護、医療分野 23コース、定員185名</p>
(2) 女性の職業能力開発	<p>① マザーズハローワーク等でのキャリアコンサルティングの実施 [ハローワーク]</p> <p>・担当制によるキャリアコンサルティングを計画的に実施</p> <p>② 介護、医療、IT分野での訓練コースの設定、託児サービス付きの訓練及び短時間訓練コースの設定 [県]</p> <p>・介護、医療、IT分野での訓練コースの設定 [実施計画数] 介護医療分野：23コース、185名 （前年比：17名減） IT分野：18コース、219名 （前年比：49名減）</p> <p>・子育て中の女性が受講しやすくなるよう、託児サービス付き訓練コースを設定 実施計画数：14コース、70名 （前年比：25名増）</p> <p>③ 母子家庭の母等への就業相談・就業支援等の実施 [県]</p> <p>・母子家庭の母等に対して、雇用ニーズに合わせてIT分野をはじめOA系等の訓練コースを設定 実施計画数：11コース 定員105名 （前年比：1コース減、25名減）</p> <p>④ 女性就業援助事業（技術講習）の実施 [県]</p> <p>・女性就業機会の拡大を図るため、職業能力開発の機会を提供 実施計画数 ：介護サービス等8コース、定員54名 （前年比：コース増減なし、12名減）</p>

(3) 若年者の職業能力開発	① 小中学校及び高校におけるキャリア教育の取組支援 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・実践的キャリア教育研修会（各教育事務所）の開催 ・社会につなぐキャリア教育研修講座（岩手県総合教育センター） ・県の機関における高校生インターンシップの実施 ・いわて高校魅力化・ふるさと創生推進事業の実施（内陸部の専門高校等におけるキャリア教育の推進の支援） ・県立学校復興担い手育成支援事業（就職等支援）の実施（沿岸部の専門高校等におけるキャリア教育の推進の支援）
	② 大学、産業技術短期大学校等職業能力開発施設におけるキャリア教育の取組 [各大学、職業能力開発施設]	<p>【岩手県立大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本学独自に作成した「就職活動ロードマップ」を活用し、学生自身で就業力に関する項目の達成度の自己評価を実施 ・多様化するインターンシップについて学生の理解を促すガイダンスを実施 ・基盤教育課程及び各学部専門課程において、キャリア教育科目を開講 <p>【岩手大学】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岩手県内三大学連携インターンシップ（岩手県立大学が主導）の実施。連携大学内でツールを共有 ・キャリアガイダンスの実施 ・岩手県立大学とキャリア教育科目「地場産業・企業論」を共催で開講 ・キャリア教育科目「キャリアを考える」等を開講 ・市町村との共催による県内事業所ワイガヤバスミーティングの実施 <p>【職業能力開発施設】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就職講話、インターンシップ、企業等の見学説明会などの継続的な実施 ・オンラインを用いた企業等による業界説明セミナー、就職講話、企業説明の実施
	③ 「ものづくりマイスター」の活用 [国]	<p>【職業能力開発協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高度な技能と長年の実務経験が有り、技能の指導ができる専門家「ものづくりマイスター」を中小企業や工業高校、イベント会場等へ派遣し、若年技能者への指導を実施
	④ 学校等関係機関との連携による支援 [県、国、関係市]（地域若者サポートステーション支援）	<ul style="list-style-type: none"> ・就労支援機関、福祉関係機関、教育委員会等と連携し、若年無業者等若者のほか就職氷河期世代支援や高卒未内定者に対し、県内全域をサポートできるよう支援を実施
	⑤ セルフキャリアドックやオンラインを活用したキャリアコンサルティングの機会の確保 [国]	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリア形成サポートセンター（厚生労働本省委託事業）において、セルフ・キャリアドックの導入や雇用型訓練などの支援を推進
	⑥ 日本版デュアルシステム等による訓練の推進 [県]【再掲】	
	⑦ ジョブカフェによる就業支援 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・相談対応やキャリアカウンセリング ・セミナーや各種イベント等の開催 ・県内企業等の情報提供等
	⑧ 就業支援員、県内就業・キャリア教育コーディネーターによる就業・キャリア教育支援 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・各広域振興局振興等に就業支援員及び県内就業キャリア教育コーディネーターを配置し、就職を希望する高校生への就職支援や、進学校の高校生、大学生等に対する進学後の県内就職促進に係るキャリア教育支援を実施

(4) 中高年齢者の職業能力開発	① セルフ・キャリアドックの推進 [国]	・キャリア形成サポートセンター（厚生労働本省委託事業）においてジョブカードを活用したキャリア形成支援を推進
	② 高齢者の継続雇用の実現に向けて、中高年労働者が身につけておくべき能力の習得に資する訓練コースを提供 [機構]	・民間教育訓練機関を活用した生産性向上支援訓練（ミドルシニアコース）を実施 実施計画数：40名（前年比：増減なし）
	③ 生涯現役支援窓口における求人情報の提供や各種ガイダンスの実施[ハローワーク]	・生涯現役支援窓口をハローワーク盛岡・一関・水沢に設置し、求人情報の提供や各種セミナーを実施
(5) 障がい者の職業能力開発	① 障がい者の多様なニーズに対応した委託訓練の実施 [県]	・県内企業・社会福祉法人等の多様な委託先を活用して、障がい者の適性等及び障がい者雇用ニーズに対応した訓練を実施 実施計画数：36名（前年比：1名増）
	② 施設のバリアフリー化の推進、精神保健福祉士等の配置等により環境を整備 [県、機構]	【県】 ・施設のバリアフリー、ユニバーサルデザインの状況、精神保健福祉士等の配置・必要性について調査 【機構】 ・障がい者が入校しやすい環境に配慮した整備を実施
	③ 関係機関との連携の強化 [県、ハローワーク、関係団体]	・平成25～27年度に実施したジョブコーチ養成研修を修了した者等に対するフォローアップ研修を実施
	④ アビリンピック（全国障害者技能競技大会）の実施 [国]	障害のある方々の職業能力の向上を図るとともに、企業や社会一般の人々に障害のある方々に対する理解と認識を深めてもらい、その雇用の促進を図ることを目的として開催 〔開催計画〕 ・開催日：11月4日～6日 ・場 所：幕張メッセ ・競技種目：技能競技 25種目 ※R3は、本県から9種目10名が出場
	⑤ 岩手県障がい者技能競技大会の開催 [県、機構]	障がい者の職業能力の向上と雇用の促進を図るため、開催 〔開催計画〕 ・開催日時：7月30日 ・開催場所：産業技術短期大学校矢巾校 ・競技種目数：12種目（いわてオリジナル種目2種目） ・備考：県大会併催イベントとして、「事業向け障がい者雇用促進セミナー」を実施予定 ※R3は、11種目実施。43名参加

(6) 就職氷河期世代や外国人労働者に対する支援	① いわて就職氷河期世代活躍支援プラットフォームによる関係団体連携による支援[労働局、県、東北経済産業局、市町村、関係団体]	・いわて就職氷河期世代活躍支援プラットフォームを開催し、構成団体の各事業に係る情報交換等を実施
	② 短期資格等習得コース事業の推進、求職者支援制度、人材開発支援助成金等による支援 [国]	・短期資格等習得コース、求職者支援訓練、各種助成金の活用により支援を実施
	③ e-ラーニング講座や企業向けセミナー等の実施 [県]	・ジョブカフェいわての開館時間延長 ・e-ラーニング講座の実施 ・キャリアアップセミナーの実施 ・職場見学会の実施 ・企業向けセミナーの実施 ・企業面談会の実施
	④ 地域若者サポートステーションによる支援[国、関係市]	・就労支援機関、福祉関係機関、教育委員会等と連携し、若年無業者等若者のほか就職氷河期世代支援や高卒未内定者に対し、県内全域をサポートできるよう支援を実施
	⑤ 外国人材の就職等に精通したキャリアコンサルタントの育成 [国]	・外国人のキャリア支援に携わるキャリアコンサルタントを育成するため「外国人支援のためのキャリアコンサルタント向け研修」（厚生労働本省委託事業）を実施
	⑥ 定住外国人に対して、その日本語能力等に配慮した職業訓練を実施 [国]	・今後、ニーズを捉えながら、関係団体等と連携のうえ、実施内容について検討

【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度
障がい者委託訓練受講者数	26人	21人	
介護・医療・IT分野の離職者等再就職訓練の受講者数・就職率【再掲】	343人 87.2%	274人 87.2%	
離職者等再就職訓練等の就職率（県委託訓練分）【再掲】	80.0%	80.7%	

3 労働者の自律的・主体的なキャリア形成の推進		令和4年度の具体的取組
(1) キャリアコンサルティングの推進	① 企業へのセルフ・キャリアドックの導入支援や、ジョブ・カードを活用したキャリアコンサルティングの環境の整備 [国]	・キャリア形成サポートセンター（厚生労働本省委託事業）において、セルフ・キャリアドックの導入や雇成型訓練などの支援を推進
	② キャリアコンサルタントに必要な知識・能力の習得や専門家等とのネットワーク作りを促進 [労働局、県]	・キャリアコンサルタントに、登録に必要な講習や専門研修の受講機会を提供
	③ オンラインを活用したキャリアコンサルティングを推進 [国] 【再掲】	
	④ ジョブカフェによる就業支援 [県] 【再掲】	
	⑤ 就業支援員、県内就業・キャリア教育コーディネーターによる就業・キャリア教育支援 [県] 【再掲】	
(2) 自律的・主体的な学びの支援	① 教育訓練給付の対象講座の充実 [国]	・働きながら学びやすくする観点から、オンライン講座や夜間、土日の講座などを充実
	② 教育訓練休暇や教育訓練短時間勤務制度の普及を促進 [国]	・人材開発支援助成金を活用した普及の促進
	③ 社内公募制やフリーエージェント制等の制度の普及促進 [国]	・厚生労働本省で実施（グッドキャリア企業アワード等）
	④ 学び直しに対応した在職者訓練等の充実 [県]	学び直しに対応した在職者訓練等の充実 〔主な内容〕 ・ITリテラシー向上等を目的とした訓練 実施計画数：4コース、50名【新規】 ・資格取得関連コース 実施計画数：23コース、345名 （前年比：1コース減、60名増）
	⑤ 人材開発支援助成金の活用の促進 [国]	・事業主団体等主催の会議等にて、本助成金を周知・説明
	⑥ 技能検定の活用の促進 [県、職業能力開発協会]	・関係団体と連携し、技能検定制度の周知を図るとともに、学生や若年者の積極的な受検を喚起 ・技能検定の機会の確保や試験の円滑な実施のため、県立職業能力開発施設の借用や職業訓練指導員の派遣等に積極的に協力

【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度
技能検定受検合格者数	1,345人	1,172人	
在職者訓練の修了者数(県実施分) 【再掲】	1,880人		

4 技能継承の促進		令和4年度の具体の取組
(1) 技能の継承・発展	① 若年者のものづくり分野への積極的な誘導の推進とデジタル技術を活用した技能継承の取組の普及 [国、県]	<p>【国】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厚生労働本省で実施（若年技能者人材育成支援等事業等） <p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ものづくり体験イベント等地域における技能振興の取組等を通じて若年者のものづくり分野への積極的な誘導を推進 ・視点カメラを取り入れた実習指導など、新しいデジタル技術を活用した技能継承の取組事例を捉えながら取組を拡充
	② 技能競技大会等の実施により、若年者に対する技能の重要性、魅力を発信 [国、県、職業能力開発協会]	<ul style="list-style-type: none"> ・関係団体と連携し、技能競技大会の周知・実施を通じ、学生等を含む若年者に対する技能の重要性・魅力を発信 <p>〔R4主な大会〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能五輪全国大会 11月4日～7日（千葉県） （岩手県地方予選大会（技能検定国家試験と同時開催）） ・若年者ものづくり競技大会 7月27日～28日（広島県） ・岩手県若年者技能競技会 11月22日（岩手産業文化センター）
	③ 技能五輪全国大会、若年者ものづくり競技大会への参加促進 [県、職業能力開発協会]	<p>【県】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能競技大会の周知と積極的な参加の促進 <p>【職業能力開発協会】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・技能五輪全国大会及び若年者ものづくり競技大会参加選手に対する旅費・工具運搬費の支援
(2) 技能尊重 気運の醸成	① 卓越技能者表彰（現代の名工）や技能五輪全国大会等の技能競技大会の実施 [国]	<ul style="list-style-type: none"> ・卓越技能者表彰（現代の名工） 技能者の地位及び技能水準の向上を図ること等を目的として実施 被表彰者数：毎年、概ね150名 （これまで本県では76名（R3-4名）が受賞） ・技能五輪全国大会 技能尊重機運の醸成に資することを目的として実施 〔開催計画〕 実施日：11月4日～7日 場所：幕張メッセ 競技職種：42職種 <p>※R3は、本県から8職種13名が出場</p>
	② 岩手県卓越技能者表彰の実施 [県]	<ul style="list-style-type: none"> ・技能者の地位と技能水準向上を図るため、岩手県卓越技能者表彰を実施 被表彰者数：毎年、概ね17名 （これまで卓越技能者350名、青年卓越技能者227名（R3はそれぞれ8名、10名）を表彰）

【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度
技能五輪全国大会の出場者数	30人	13人	
技能検定受検合格者数【再掲】	1,345人	人	

5 職業能力開発施設等における産業人材の育成の推進		令和4年度の具体の取組
(1) 県立職業能力開発施設	① 学科・定員の必要に応じた見直し [県]	・定員充足率や企業の人材ニーズ、民間職業訓練、工業系などの高校の生徒数の状況等を含め、学科・定員について必要に応じて見直しを実施
	② カリキュラムの充実 [県]	・高度化・多様化する産業を支える人材育成に向け、学生や卒業生による授業評価等を通じてカリキュラムの充実を図り、さらにデジタル技術等の進展に対応した授業構成を推進 〔主な取組内容〕 ・デジタル技術を用いた最先端技術の紹介、見学等
	③ 在職者訓練の充実 [県]	実施計画数：126コース、2,300人 (前年比：2コース減、25人増) 〔企業ニーズを踏まえた主な研修内容〕 ◎ハラスメント対策やメンタルヘルスクエ ◎ITリテラシー向上を目的とした訓練 ・IT人材の育成強化に向けた訓練 等 ※◎は新規
	④ 離職者等再就職訓練の訓練推進体制の継続 [県]	・産業技術短期大学校、宮古高等技術専門校、二戸高等技術専門校、定住推進・雇用労働室において、企業及び求職者の訓練ニーズを適切に捉えつつ、訓練支援体制を継続
	⑤ 再編整備基本計画に基づく訓練環境の整備 [県]	・各県立職業能力開発施設における課題の抽出を行い、再編整備基本計画の基礎となる現状分析を実施
	⑥ 職業訓練指導員の育成 [県]	・職業訓練指導員研修等の受講によりIT分野等最先端の学識・技術・技能を有した指導員を育成 ・熟練指導員からの日々のOJTを通じて、指導員としての技能・技術・人間性を涵養
(2) 国の職業能力開発施設	① ものづくり分野の人材育成のための訓練の実施 [機構]	・離職者訓練 定員：延べ368名（前年比：増減なし） テクニカルオペレーション科：60名 金属加工科 52名 電気設備技術科 60名 建築CAD施工科 68名 他 ・在職者訓練 実施計画数：250名（前年比：増減なし）
(3) 職業訓練法人	① 認定職業訓練を行う事業主等を支援 [国、県]	・地場企業の訓練ニーズに対応できるよう、引き続き、認定職業訓練費補助金により、職業訓練法人の運営を支援 実施計画数：16団体（前年比：増減なし）

【目標】項目	各年度において達成すべき目標	(参考)R3年度	R4年度
県立職業能力開発施設における県内に事業所がある企業への就職率	81.2%	83.6%	
在職者訓練の修了者数(県実施分) 【再掲】	1,880人		